

No.2517

オーストラリア学会 25 周年記念事業、第 1 回国際学会

「グローバル化時代におけるオーストラリア研究の変容」

同志社大学 名誉教授／日本女子大学 非常勤講師
有満 保江

オーストラリア学会 (ASAJ) は、創設 25 周年を記念して、2014 年 7 月 26 日 (土)、27 日 (日) の二日間にわたり「オーストラリア学会第 1 回国際学会」を開催した。大会の趣旨は、グローバル化が急速に進行する現代において、オーストラリア研究が果たす役割を考察することであった。総勢 40 名近い研究者を海外から迎え、3 本の特別講演、3 名のパネリストと司会者によるシンポジウム、そして 28 名の研究者による研究報告が行われた。オーストラリア学会員および非学会員を含め、二日間の参加者は延べ 100 名であった。すべてのセッションは英語で行われ、招聘講演、シンポジウムについては日本語と英語の同時通訳が付いた。

特別企画であった、“A New Wave of Media in a Multicultural Society” と題する「ソフィア・シンポジウム」では、グローバル化する現代社会においてメディアが果たす役割についての討論があった。オーストラリア側からは先住民と非先住民の和解問題について、また日本側からは、3.11 などの震災時にメディアが情報発信としてどのような役割を果たしうるかについての問題提起があり、フロアと活発な議論が交わされた。また、最後に開催された国や地域の代表者によるラウンドテーブルでは、各地域におけるオーストラリア研究の現状報告、および未来の展望についての提言がなされた。そして今回の国際学会は、日本がアジアとの連携ばかりでなく、欧米との連携を深めるために重要な役割を果たした、という発言があった。

当プロジェクトは、ASAJ の最初の国際学会として、オーストラリア研究の情報を世界に広く発信できたと考える。当学会の成果として、特別講演、シンポジウム、そして個別報告は『オーストラリア研究 28 号』に論文集として収録された。今後とも、ASAJ は継続的な国際学会の開催に力を尽くしていきたいと考える。今回のプロジェクトの成功は、「りそなアジア・オセアニア財団」の多大なる助成なくしては達成できなかったものと考え、心より感謝申し上げる。